

日田商工会議所 隈を元気にして委員会 議事録

1. 日 時 令和 8 年 8 月 4 日（火） 10 時 30 分～11 時 30 分

2. 場 所 日田商工会館 4F 議員サロン

3. 出席者

（会 頭） 瀬戸 亨一郎
（委員長） 河津 奈津子
（担当副会頭） 小ヶ内 敏行
（副委員長） 古田 嘉寿美
（委 員） 梶原 義一、高倉 貴子
（専務理事） 樋口 恒成
（事務局） 大石、栞野、中島、別府

4. 議事経過

1) 委員長挨拶

- 河津委員長より、大変暑い中集まっていたことへの感謝が述べられた。今回は第 3 回目の委員会であり、限られた 1 時間の中ではあるが、秋のイベント等に向けた様々な提案を含めて活発な協議をお願いしたいとの挨拶があった。

2) 議題：今後の委員会事業について（秋のイベントおよび観月祭の検討）

① 前回（5 月 27 日開催）の振り返りと今後の基本方針

- 委員長より、前回デジタルツールを用いて委員から出された多数の意見について、ジャンル別（経済、水辺、文化、交通、観光・スポーツ全般）に整理した結果が改めて共有された。
- 3 年間の活動ロードマップにおける最初の 1 年は、季節ごとの隈の魅力を掘り起こしながらアイデアを煮詰めていく期間と位置づけ、引き続き通年での盛り上げ方を検討していく方針が再確認された。

② 「隈の灯まつり」の実施計画について

- 昨年 JC（青年会議所）主体で実施され大きな賑わいを見せた「隈の灯まつり」について、今年度は地元の隈のメンバーを中心に実行委員会を組織し、実質的な第 2 回目を開催予定であることが共有された。
- 今年度は継続性を重視し、大掛かりなステージイベントは行わず、「提灯を灯すこと」を主軸として 9 月 25 日（金）～27 日（日）の 3 日間にわたり開催する予定。
- 日曜日（27 日）には、黎明館から隈町公園までの区間で歩行者天国（通行止め）を実施し、屋台の出店等を予定。金・土曜日は横の提灯のみを点灯し、隈町公園

を中心に明かりを灯して賑わいを創出する。

- また、中日の土曜日（26 日）には、隈町公園周辺でチャリティのマイケル・ジャクソン・ダンスイベント（約 200～300 人規模）が予定されており、相乗効果による賑わいが期待される。

③ 「観月祭」の提案と体験会（モニターツアー）の実施に向けた協議

• 「観月祭」の提案：

9 月 25 日（金）が満月にあたるため、委員長より、本委員会が主体となって「観月祭」を前夜祭的な位置づけで併設開催してはどうかとの提案がなされた。

• 過去の経緯と課題：

過去には旅館組合や各旅館が複数の屋形船や水上ステージを出し、音楽イベントを含めて大掛かりに実施していたが、多大な費用や深刻な人手・スタッフ不足により、現在は 1 軒の旅館（萬屋）が実施するのみで全体での開催は難しくなっている実情が共有された。

• 体験会（モニターツアー）としての実施決定：

委員自身も観月祭や屋形船、鵜飼を実際に体験したことがない者が多いことから、まずは今年、委員会メンバーおよび商工会議所議員を対象とした「体験会（モニターツアー）」として 9 月 25 日（金）に実施し、将来的な観光商品化に向けた検証を行うことで合意した。

体験会プラン案（検討内容）：

- ・ **形式：** 旅館組合（三隈等）から屋形船（1～2 艘、1 艘あたり約 20 名規模）を借り、水上から満月と鵜飼を鑑賞する。
- ・ **飲食：** 高価な懐石料理ではなく、お弁当や軽いおつまみ、おにぎりを各自で持ち込むカジュアルなスタイルとし、乾杯用ドリンク以外は持ち寄りを基本とする。
- ・ **費用：** 参加費（5,000 円程度を想定）を各自が負担し、費用対効果や満足度の検証（アンケートの実施など）を行う。
- ・ **演出・その他：** 川沿いでのカジュアルな賑わい創出として、以前作成した木製の組み立て式「川床（デッキ 2 台）」を亀山公園側などに安全配慮の上で設置しライトアップする案や、深刻な鵜匠・船頭の後継者問題に対する公的支援の重要性についても議論が交わされた。なお、花火の打ち上げは予算の関係上、今回は見送ることとした。
- ・ **今後の進め方：** 委員長より旅館組合や関係旅館に対し、体験会での屋形船の貸し出し可否、食事持ち込み等の条件、費用の調査・相談を進める。

3) その他

地域イベントの情報提供（藻がりの実施）

- 高倉委員より、水環境ネットワークセンター主催の「藻がり（オオカナダモ等の

水草駆除活動)」の実施について情報提供があった。

- 日時：8月22日（土）9:30～12:00
 - 内容：近年、異常繁殖して水面を覆い生態系を脅かしている外来水草「オオカナダモ」の駆除を、地元小中学生や地域住民、国交省、SUP（サップ）愛好家等の協力のもとで実施。
 - 課題と対応：刈り取った水草の処分等を含め、川の環境整備や亀山公園の有効活用については、国交省への申請や市への働きかけを商工会議所として後押ししていくことが有効であると確認された。
- 事務局より、引き続き次回に向けて委員長と連携しながら進めていく旨が案内された。

4) 閉会（11時30分 閉会）